

萩原邸に座り込む

炭労の中央行動

一月十六
かれていました。
また、抗議団のゼッケンには、
「政府・三井銀行は北炭の灯を消
すな」、「夕張新鉱の閉山・縮小
反対、坑底の仲間を早くかえせ」
と訴え、整然と抗議の行動が行わ
れました。
十四時四十五分ごろに、萩原邸
より交渉に応じたいと連絡があり
交渉団には野呂委員長、橋本事務
局長、松橋副委員長を選び、交渉
が行われました。

この日は、東京でも初雪が降る
ほど寒気がひびく状態でした。冷
え込んだデモの中では「会社は
ヤマがつぶれるとくつかえし、労
働者にひどい合理化に協力させて
きた。その結果が九十三人の仲
間の生命を奪った」と。また、あ
る主婦は「今度あがってくる人は
誰さだろう。早くあがってく
るとよいけれど……仲間たちの遺
体は見られなほどひどいかわり
ようだ」などと話していました。
十六時十五分、交渉を終えた代
表団は帰ってきて、野呂委員長が
説明がありました。

「萩原氏は『山根管理入、大山
専務さん』の立場を考慮して、すべ
ては言えないが賃金はできてい
る。十八日に回答します」と言っ
ている。私たちの目的は達成した
と判断する」と報告があり、座り
込み抗議団はこれを承認し、今後
も夕張の仲間とともにたたかうこ
とを確認し、「団結がんばろう」
を行い十六時二十分に座り込みを
解散しました。

（この項、芳川組組長）
ため萩原は私財をなげだせ」と書
きつけられた。萩原邸は、東都目黒区の高
台にある高級住宅地にあり、その
敷地は千五百坪はあるという豪華な
邸宅だ。



入坑点検を実施

五十一項目の改善要求

三池労組では、今年初の執行部
全員の入坑点検を、一月二十
二日、二十三日の二日間に行わ
て実施しました。一日目は、三池
鉱の上層六十六部内と上層西八
十部内。二日目は四山鉱の西三
十五部と西六十部を点検しました
点検の結果、次のような改善事項
をまとめた各鉱に申し入れました。

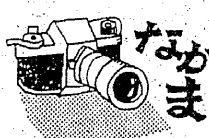
四山鉱で連続事故

一月二十一日、四山鉱（松藤吉
治鉱長）西六十部西三十五部、カ
ッターに注油中の内機員・和田学
さん（四十三歳）が、突然落ちた
先端カッパ（自走棒のテレスコ
ピ）とカッターに挟まれて頭蓋骨陥没
骨折、脳挫傷、脳内出血、右耳四
針縫合という重傷を負いました。
同日二十一日午後零時十四分頃
本層三十五部西四十部上段松山鳴
りがあり、松藤吉長は、対策に万全
を期すとともに、同日二番方・三
番方で三十分の保安点検を実施す
ることを明らかにしました。

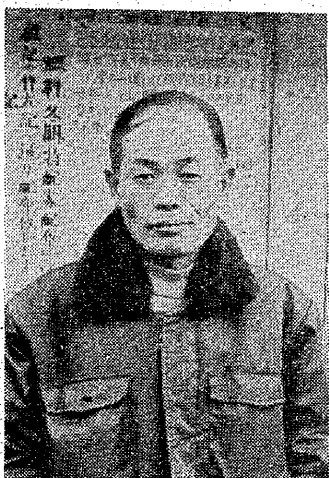
三池労組では、二十三日入坑点
検後、連続する事故に強く抗議し
ました。松藤吉長は、対策に万全
を期すとともに、同日二番方・三
番方で三十分の保安点検を実施す
ることを明らかにしました。

二十分会（三川）

松崎 恵章さん



松崎 恵章さんは、昭和三年九月六日生れの五十三
歳。万田鉱入社が昭和十八年で十
五歳のとき。二十六年の三川鉱
との合併後は、外権（現在の材
運）一本で通し、数年前の外運
の下請化前までは電車に乗って
いた。今は炭田洗いの仕事。
子供は、長女・淳子さん、長
男・弘憲さんの二人。どちらも
結婚して別々に暮らしている。
▼昭和四十年、最愛の妻・
安子さんを病気で失ったときの
打撃は大きかった。当時弘憲さ
んは、



松崎さんは、いま荒尾市
万田社宅西町6棟で一人
住い。

労働戦線統一についての わたくしたちの態度

第10回委員会への提案

労働戦線統一問題をめぐる産
業別（炭労）の態度が、一月十
四日の書記長会議で提起され、
同二十六日の炭労中央委員会
決定されることになりました。
三池労組では、かねてより準
備会参加は右翼の再編成である
という立場から、反対の意志を
明らかにしてきましたが、さら
に検討を深めていたために
去る二十三日の委員会への提案
を、資料として掲載いたします。
そのために、われわれは一層
主体的力量を強めつつ、自から
強める意見も多く出され、それ
らを集約の上、炭労中央委員会
に臨むことになりました。

一、労働統一について の提案内容

（一）炭労は八〇年代の労働運動
の課題として、労働問題をす
でに炭労大会（八〇・八一年）で
決定した運動方針にもつき対
処してきた。

（二）今日の段階で
は、とくに労働
組合が大きい結
集し、政治的反
動化、軍国主義
化に阻止めをか
けることが必要
となっている。

（三）炭労は八〇年代の労働運動
の課題として、労働問題をす
でに炭労大会（八〇・八一年）で
決定した運動方針にもつき対
処してきた。

（四）炭労は八〇年代の労働運動
の課題として、労働問題をす
でに炭労大会（八〇・八一年）で
決定した運動方針にもつき対
処してきた。

（五）炭労は八〇年代の労働運動
の課題として、労働問題をす
でに炭労大会（八〇・八一年）で
決定した運動方針にもつき対
処してきた。

（六）炭労は八〇年代の労働運動
の課題として、労働問題をす
でに炭労大会（八〇・八一年）で
決定した運動方針にもつき対
処してきた。

（七）炭労は八〇年代の労働運動
の課題として、労働問題をす
でに炭労大会（八〇・八一年）で
決定した運動方針にもつき対
処してきた。